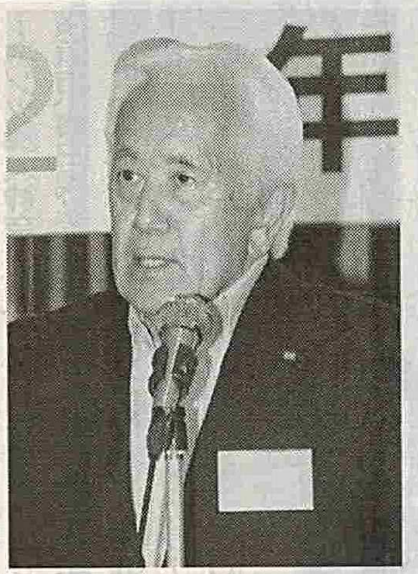
日本万引防止システム協会

万引犯罪の変化見据え

平成28年度通常総会開催

日本万引防止システム協会(戸田秀雄会長)は6月2日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで平成28年度通常総会を開催した。

冒頭、戸田会長は「第1回常習万引・集団窃盗未然防止国際サミットに日本側代表として全国万引犯罪防止機構が参加した。米国側から得た犯罪状況は5兆円を超える被害額でその6割が集団窃盗による被害額であった。ネット販売など商品流通形態が大きく変化するなかで、万引犯罪は換金目的の悪質な組織犯罪へと移り変わっている。日本においても青少年から高齢者へと広がる万引犯罪が社会的にも、憂慮すべき事態で、一過性の犯罪から組織犯罪へと高額窃盗事案が増える等、米国に似た犯罪情勢の変化が見えた」とあいさつした。



戸田会長

議事に入り、戸田会長を議長に選出。第1号議案の平成27年度事業報告・収支決算の件では福井昂総務委員長が登壇した。福井委員長は事業の概要として「27年度は①お客様満足向上に向けての運用面の対応強化②万引防止システムの理解を深めて行く為の研究と広報活動③法令を遵守しながら活力ある業界作り」などを述べた上で理事会を年間7回、運営委員会も7回実施したことを伝えた。

政策・研究委員会の報告は稲本義範事務局長が市場規模調査の準備と実施、業界活性化・市場拡大策(スーパーマーケットトレードショーの出展決め)、JEAS新活動宣言の準備検討などを報告した。その他、ソースタギング推進委員会、技術準備委員会、総務委員会などがそれぞれ活動報告を伝えた。

また、総務委員会の収支報告の後、伊藤和賢監事が監査報告を行いこれらは、原案通り可決した。

第二号議案の平成28年度の組織、人事の件は、本年は2年毎の改選時期のため以下の新陣容で就任された。

会長=戸田秀雄▽副会長=三宅正光▽理事=田和久典、佐藤圭三、飯田裕一、飛永泰男、那谷幸平、摺田祐司(新任)、福井昂、内藤正美、樋口優平、米山英志(新任)、田丸典億▽監事=伊藤和賢、山根久和。

また新規プロジェクトとして、防犯データ安全利用推進委員会が三宅理事を委員長に据え発足したことなどを報告しこれを可決。

第三号議案の平成28年度事業計画、収支予算の件では全国万引犯罪機構が計画中の「万引防止全国大会(仮称)」開催の支援。RFIDの動向調査を含む「RFID研究・ソースタギング推進委員会」プロジェクト活動、小売業向け万引防止・ロス削減の為の店舗診断サービスの検討など新たな取組みが報告されこれを可決。

第4号議案は、新活動宣言発出の件では、稲本事務局長が政策委員が検討して制作した「継続的なロス削減をめざしソリューション強化」をテーマとした活動宣言を読み上げこれが承認された。

休憩をはさんで第2部の記念講演では、(一社)東京都警備業協会の宮坂昇事務局長が「2020年の警備体制構築に向けての施策人材確保・システムの活用」をテーマに講演した。

続いてヤフー㈱コーポレート統括本部政策企画本部ネットセーフティ企画部の吉田奨部長が「インターネットにおける諸対策」をテーマに講演した。

最後に、警察庁生活安全局生活安全企画課の成田浩司都市防犯対策官が感想を述べ終了した。